

要保管

発売元：辰巳屋興業株式会社 用品部
 東京都葛飾区西新小岩 3-8-4
 TEL.03-3696-0620 FAX.03-3696-6721
 URL: http://www.racinggear.co.jp
 E-mail: rg@tmy-net.co.jp

車高調整式サスペンション 取扱説明書

【はじめに・・・】

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は車種別専用設計で減衰精度の高いダンパーキットです。その性能を十分に発揮させる為にも以下の注意事項をご理解の上、正しくご使用ください。

- この取扱い説明書には製品をご使用頂く際と車輛に装着する際の注意事項が記載されております。よくお読みになって正しくご使用下さい。本書に記載されている事項を守らなかった場合の死亡・怪我・事故・物的損傷・製品についての保証は一切の責任を負いかねます。また本製品に不具合が発生した際の製品脱着及びそれに関連する作業工賃・送料・時間的損失・車両等の修理代金についても、弊社で負担することは一切出来ませんので予めご了承ください。
- 本書はいつでも取り出して読めるように車内に保管して下さい。
- 本製品を譲渡される場合には、本書も必ず添付して下さい。

【安全にご使用頂くために】

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を安全にご使用頂くために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号は次のようになっております。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

△危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負うことに至る切迫した危険な状況を示します。
△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が重症または軽症を負う可能性が想定される危険な状況を示します。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽症または中程度の損傷を負う可能性が想定される危険な状況、及び物質損傷の発生のみが想定される状況を示します。

【ご使用、装着前に必ずお読みください】

△危険	本製品の装着、脱着、車高調整作業を行う際は、必ず自動車用リフトをご使用頂くか平らな場所でゲレージジャッキとリジットラックを使用し慎重に作業を行って下さい。また、取付作業は危険を伴いますので、資格を持つ専門店にて行って下さい。
△警告	本製品には高圧ガスが封入されておりますので、危険ですから絶対に分解したり、火中に投げたりしないでください。
△注意	本製品の加工及び改造は絶対に行わないで下さい。製品のシャフトはキズに気を付け工具等でつかまないのでください。作動不良及びオイル漏れの原因になります。
△注意	本製品を落下させたり、強い衝撃を与えますと、キズなどの発生により強度が低下する原因になりますので注意して取り扱って下さい。
△注意	装着の際、各部の締付トルクは自動車メーカーの整備要領書に従い規定トルクにて確実に行って下さい。
△注意	本製品を廃棄される場合は販売店又は自動車部品解体業などの専門家にご相談下さい。
△注意	本製品を一般公道でご使用の際は、必ず最低地上高90mm以上を確保してください。また、初年度登録が平成18年以降の車両は、ウインカーランプ下縁の高さが0.35m以上、フロントフォグランプ装着車は、フォグランプの下縁の高さが0.25m以上確保されていることをご確認の上ご使用下さい。
△注意	ブリクラッシュセーフティシステム（衝突被害軽減ブレーキ）が搭載されている車両の場合、本製品を装着することで、そのシステムが正常に作動しない可能性があります。弊社では本システムの動作に関わる保証は致しかねますので、予めご了承ください。
製品保証	本製品をご購入後1年且つ走行距離2万km以内に不具合が発生した場合不具合箇所の無償修理をさせていただきます。製品保証をお受けになる場合、ご購入日を確認出来るもの（領収書等）の提示が必要となります。また下記の免責事項に該当する場合は対象外となります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 本書に記載された取扱い方法に反して、取付、使用された場合 ● 使用中に生じたキズ、塗装・メッキ剥れ、錆に起因する不具合 ● 音に関する不具合（ダンパー摺動音、ピロボールから伝わる音等） ● 天変地異により起因して生じた不具合 ● ご購入後の取扱い上の不備（輸送事故・取付け作業中の事故） ● 本製品以外の製品と組み合わせて使用したことによる不具合 ● サーキット、競技での使用による不具合 ● 日本国以外で使用された場合

【製品についてご説明】

自動車の懸架装置を変更する際、改造自動車等届出書及び自動車車検証の記載事項変更の手続きは原則必要ございませんが、交換運用される際、ご使用者自身が道路運送車両法の保安基準を十分にご理解の上、自動車の自主管理を行って下さい。

- 本製品は日本国内でのご使用を目的に設計されたものです。海外ではご使用にならないでください。

This product is designed for Japan only. It must not be used in any other country.

- お客様ご本人又は第三者の方が本製品及び付属品の誤ったご使用やそのご使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害につきましては、弊社はその責任を一切負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は改造車両に適合するものではございません。改造自動車に装着される場合は法令で定められた改造申請等の届出を行い検査合格後にご使用下さい。但しその際、車両が破損することがございまして弊社は一切その責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は品質改善の為、予告無く仕様変更する場合がございます。

【ご使用上の注意】

本製品を正しくご使用頂くために以下の事項に十分ご注意ください。

△注意	シェルケース、アジャストブラケット等スチール材を使用している部品がございます。経年劣化及び走行中の飛び石等によるキズ、融雪剤により錆が発生し、固着、破損する場合があります。錆に起因する不具合は保証対象外となりますので、定期的に清掃、防錆剤の塗布、パーツ交換を行って下さい。
△注意	タイヤチェーンをご使用になる際はゴム製のネットチェーンのご使用をお勧めします。スチールチェーンを装着され本製品と干渉しますと本製品が破損する恐れがあります。また、積雪道路を走行された後は本製品に付着した汚れをよく洗い流して下さい。
△注意	減衰力を調整される際には、過度な力はかけないでください。破損の原因となります。破損した場合、シェルASSYの交換が必要となりますので、予めご了承ください。
△注意	車高が下がる為、段差、障害物等への下回り、スポイラー等が干渉し易くなります。ご注意ください。
△警告	凹凸の酷い悪路を走行された場合は直ちに自動車を安全な場所に停止し、本製品に異常がないか点検を行い、万が一異常がある場合はご購入店又は自動車整備工場の専門家による点検をお受け下さい。
△警告	走行中に「シュ」という音が聞こえる場合がありますが、これはショック内部のオイルの作動音であり、ショックの異常ではありません。
△危険	各部パーツは経年劣化します。取付け後は定期的に点検を行い必要に応じてパーツ交換を行って下さい。

【取付けについて】

- ① 純正ショックアブソーバー、スプリング等を車輛より取り外して下さい。
- ② ①で取り外した逆の手順で本製品を車輛に取り付けて下さい。その他、各部のボルト、ナットは自動車メーカーの整備要領書に記載されている締付トルクに従って締め付けて下さい。
- ③ インパクトレンチは使用しないでください。やむを得ず使用される場合は、過度の締め付けにならないよう十分ご注意ください。ピストンロッド及び減衰力調整ダイヤルの破損の原因となります。
- ④ アッパーマウントとピストンロッドを固定するナットは、装着前に増し締めを行って下さい。
- ⑤ スプリングは遊びが無いようにセットアップして下さい。特にスプリングとショックが別体構造の車種の場合、スプリングとスプリングアジャスター、及びスプリングアジャスターと車体が確実に密着した状態になるよう、ショック側アジャストブラケットの位置を調整して装着して下さい。
- ⑥ 本製品の取り付け後は、各部の増し締めを行って下さい。
- ⑦ タイヤを取り付ける際は、本製品にタイヤやホイールの干渉がないことをご確認ください。
- ⑧ 本製品を装着されますとアライメントが変化します。測定設備の整った自動車整備工場などで調整を行って下さい。その際、著しくローダウンされていると規定のアライメント値にならない場合がございますのでご注意ください。
- ⑨ 本製品の装着後は必ず100km程度の距離を目処に慣らし走行を行って下さい。その際、異常や異音がある場合は、速やかに専門家による点検をお受け下さい。また定期的に点検を行って下さい。

△警告	サスペンションの脱着作業は設備の整ったカーショップや自動車整備工場で専門知識の教育を受けたメカニックが行う危険な作業です。専門外の方が作業されますとケガや取付け不備による車輛故障の原因となります。取付け作業は必ず専門家にご依頼ください。
△危険	標準サイズ以外のタイヤ及びホイールを使用される際、本製品への干渉がないことを必ずご確認ください。干渉が原因で本製品や車輛が破損することがございまして弊社は一切、責任を負いかねますので予めご了承ください。
△危険	サスペンションの交換作業は軍手などを使用し所定の工具にて慎重に行ってください。工具などを誤って使用しますとケガをする可能性がありますので十分ご注意ください。

【車高の調整方法について】

本製品の車高調整はアジャストブラケットを回転させて行います。下記の注意事項をご確認の上慎重に作業を行って下さい。

- ① 車輛を水平な場所でジャッキアップしタイヤ・ホイールを取り外し、本製品を車輛から取り外して下さい。
- ② アジャストブラケットロックリングを専用車高調整レンチにて緩めて下さい。
- ③ アジャストブラケットを回転させて車高の調整を行って下さい。

本製品はアジャストブラケット一回転で2mm全長が変化しますが、タイヤ側では車輛のレバー比により車高の変化量が変わりますのでご注意ください。アジャストブラケットの変化量＝車高の変化量ではございません。

車高の変化量を求める場合は、“アジャストブラケットの変化量”×“レバー比”で算出して下さい。

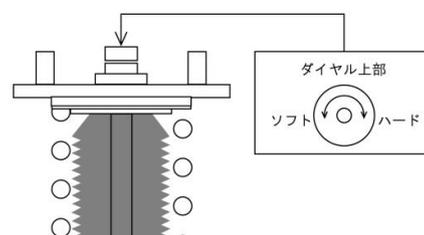
- ④ 車高調整が終了しましたらアジャストブラケットロックリングを確実に締め付けて下さい。締め付けが不十分な場合、異音の原因となるとともに危険です。十分にご注意ください。また、ロックリングは走行中に緩みが生じる場合がございますので定期的に増し締めを行って下さい。

⚠警告	アジャストブラケットの調整範囲は最長、最短サイズを熟知された上で調整作業を行って下さい。 誤った位置でご使用になられますと走行中に破損し事故に繋がる可能性があります。 必ずアジャストブラケット内にシェルケースが下記寸法以上入った状態でご使用下さい。 ストラットタイプ：60mm ストラット除く足回り構造：20mm
⚠注意	アジャストブラケット、ロックリング、スプリングシートを廻す際はシェルケースのネジ部に付着した泥や小石などの汚れをブラシなどで取り除いてから作業を行って下さい。汚れが付着したままで作業をされますと、調整が不能になり、さらにネジ部が破損する恐れがあります。

【減衰力調整方法について】

本製品の減衰力調整は正立式ダンパーがシャフト上部の調整ダイヤルにて、また倒立式ダンパーがシェルケース下部の調整ダイヤルでそれぞれ行います。

調整数は15段階クリック式で、ダイヤルに向かって右回し（時計回り）で止まった位置が最強（ハード）となります。調整される際は必ず一旦、右に回し最強にしてから何段階、左回し（ソフト）に戻したか、によって行って下さい。構造上16段以上回ることがありますが、異常ではありません。



ハード側 (右回し)	<ul style="list-style-type: none"> ・主にワインディングなどのハードな走行時におすすめします。 ・ハンドリングがシャープになり、ロールが抑えられます。 ・バネレートを上げた場合に有効です。
標準値	<ul style="list-style-type: none"> ・工場出荷時の基本減衰力値の位置です。 ・減衰力は15段階調整です。最強から6～7段階戻した位置が標準値となります。 ・セッティング時の基準として調整を行って下さい。
ソフト側 (左回し)	<ul style="list-style-type: none"> ・主に市街地走行やソフトな乗り心地を優先される場合にお薦めします。 ・最強から12段階前後の位置に回した状態からご希望の乗り心地になるよう調整して下さい。 ・ウェット路面や雪道走行時に有効です。

⚠注意	調整ダイヤルは非常に細かな部品で構成されています。過度に締め過ぎますと破損する恐れがあります。固着などで固くなった場合は潤滑スプレーを吹き付けた後、しばらくしてから回して下さい。
-----	---

【メンテナンス・補修部品について】

本製品は精密部品です。その機能、性能を末永く最良の状態でご使用頂くために定期的なメンテナンスをお薦めします。シェルケースにつきましては、オーバーホール対応は行っておらず、単品での販売となりますので、予めご了承ください。

【知ってて便利Q & A】

Q：最低地上高90mmが確保できない・・・

A：装着される車輛の重量により車高は変化します。特に特殊なオーディオを装備されたり、著しく軽量化が施された車輛に本製品を装着される場合は、本書【車高の調整方法について】に従い車高調整を行って下さい。

Q：事故で片側が破損したため1本のみ購入したい・・・

A：1本のみでの販売は可能です。但し、片側のみの交換は左右の性能が不揃いとなり走行に悪影響を及ぼす可能性がありますので、左右同時交換をお薦め致します。

Q：最近走行中にフワフワし車体の姿勢が落ち着かない・・・

A：減衰力を強めるハード方向へ調整して下さい。それでも解消されない場合はシェルケースの交換時期になっている場合がありますので、新品と交換して下さい。

倒立式サスペンション

正立式サスペンション

